

問題1

図1 太陽の動きと南中高度

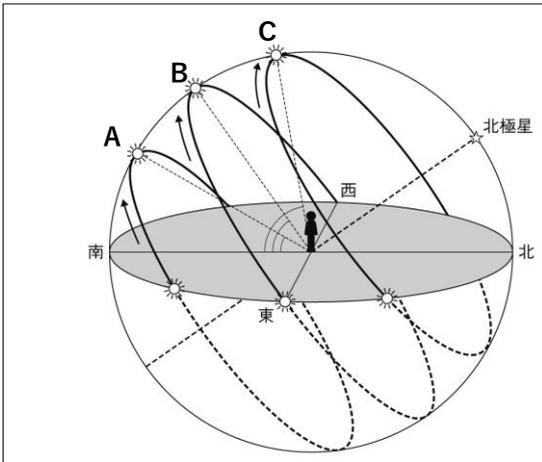
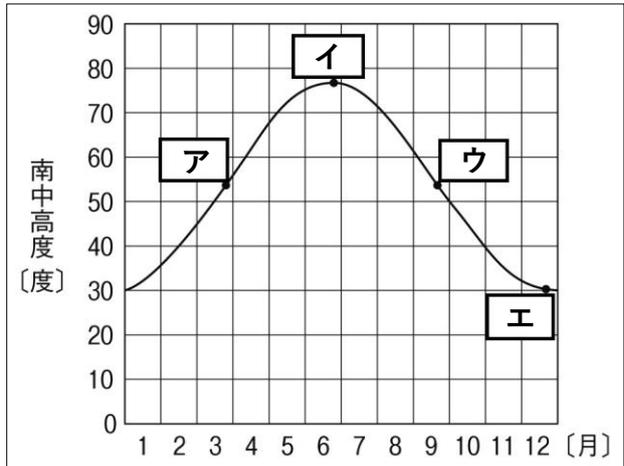


図2 季節による南中高度の変化

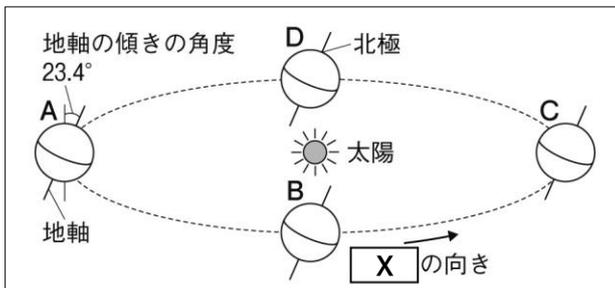


- ① 図1で、南中高度が最も高いのはA~Cの中でどれであるか、記号で答えなさい
- ② 図1で、南中高度が最も低いのはA~Cの中でどれであるか、記号で答えなさい。
- ③ 図1で、春分、夏至、秋分、冬至の日の太陽の動きを、A~Cからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
- ④ 太陽の南中高度が高いほど、同じ面積に受ける太陽の光の量はどうか、簡潔に書きなさい。
- ⑤ 図2中のア~エの点のうち、夏至の日の南中高度を示しているのはどれか、記号で答えなさい。
- ⑥ 図2中のア~エの点のうち、昼の長さが最も短くなるのはどれか、記号で答えなさい。
- ⑦ 日本では、冬よりも夏の気温の方が高い。そのようになる理由を、「南中高度」、「昼の長さ」の語を入れて答えなさい。

①	C	②	A	③	春分	B	夏至	C	秋分	B	冬至	A
④	(例) (光の量が) 多くなる。			⑤	イ		⑥	エ				
⑦	(例) 太陽の南中高度が最も高くなり、昼の長さが長くなるから。											

問題2

図3 太陽と地球の位置の模式図



- ① 地球が地軸を傾けたまま太陽のまわりを1年間で1回転することを何というか、書きなさい。
- ② 春分の日、夏至の日、秋分の日、冬至の日の地球の位置を、図3中A~Dから1つずつ選び、記号で来書きなさい。
- ③ 北緯35度での夏至・冬至の日の南中高度は何度か。それを求めるそれぞれの式と答えを求めなさい。

- ④ 季節によって太陽の南中高度や昼の長さが変化するのなぜか。簡単に書きなさい。

①	公転		②	春分	D	夏至	A	秋分	B	冬至	C		
③	夏至・式	$90 - (35 - 23.4) = 78.4$			答え	78.5度		冬至・式	$90 - (35 + 23.4) = 31.6$			答え	31.6度
④	(例) 地球が地軸を傾けたまま太陽のまわりを公転しているから。												